



## ごあいさつ

NEC関西は、NEC半導体事業グループの生産基地として事業活動を展開しております。事業活動とともに地域社会への貢献及び豊かな生活の創造をめざし、皆様と一体となった活動を進めたいと考えております。特に環境問題は、経営の最重要課題の一つとして位置づけ、地域環境に配慮した活動を中心に進めております。

この環境管理活動を効率的・効果的に実施し継続的に環境管理レベルを向上させていくために環境マネジメントの国際規格に基づくシステムを構築し、1996年3月に県内で2番目となるISO14001の認証を取得することができました。

このような地道な環境管理活動を地元の大阪市からも評価され、1999年9月に「環境管理実施事業所」の認定をいただくことができました。

21世紀に入り、当社は、環境と経営を同軸に捉え、美しい琵琶湖と地域の環境との調和や、より広域な地球環境保護対策として、次のような環境活動を進めていきたいと考えております。

地球温暖化防止のためのエネルギー使用量の削減  
循環型社会構築のためのグリーン部材調達や廃棄物の削減  
良き企業市民としての活動

この環境アニュアルレポートには、当社の環境活動に対する取り組み方針や活動状況について掲載しております。また、今年度新しく施行されたPRTR法（特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（化学物質排出把握管理促進法））に関するデータ等も追加して掲載しました。

このように当社は、循環型社会の実現に向けて、これからも前向きな環境管理活動を展開する所存でございますので、取り組みについてご理解いただくと共に、ご助言を賜りますようお願い申し上げます。



2002年6月

関西日本電気株式会社

社長 貴志 禎之



## NEC 関西の概要

会社名 : 関西日本電気株式会社  
設立年月日 : 1983年 7月 1日 新日本電気株式会社より電子デバイス事業を  
分離、独立 (創業 1943年 日本電気株式会社大津製造所)  
資本金 : 58億円  
本社所在地 : 〒 520- 8555 滋賀県大津市晴嵐二丁目 9番 1号  
TEL 077- 537- 7500  
従業員数 : 2621名 (2002年 4月末現在)  
社長 : 奥野 和雄  
主要生産品目 : 各種半導体  
(超 LSI パワーデバイス, ダイオード, 化合物半導体)  
電子コンポーネント製品  
(コックピット用ブラウン管, 磁気ヘッド)  
本社 大津工場 : 〒 520- 8555 滋賀県大津市晴嵐二丁目 9番 1号  
TEL 077- 537- 7500  
彦根工場 : 〒 522- 0223 滋賀県彦根市川瀬馬場町 750番地の 3  
TEL 0749- 28- 1152 (代)  
関連会社 : 福井日本電気(株)  
〒 919- 0402 福井県坂井郡春江町大牧東島 1番地  
TEL 0776- 72- 2611 (代)  
: 日本電子ライト(株)  
〒 518- 0002 三重県上野市千歳 138番地  
TEL 0595- 23- 3251 (代)  
: (株)近畿分析センター  
〒 520- 0833 滋賀県大津市晴嵐二丁目 9番 1号  
TEL 077- 534- 0651 (代)  
: NECマシナリー(株)  
〒 525- 8511 滋賀県草津市南山田町 85番地  
TEL 077- 563- 8511 (代)

## ●●● 環境方針（環境理念+7つの行動指針で構成）

### 環境理念

自然のいとなみを尊重した環境管理活動を展開し、環境に配慮した事業活動と地球環境保全の両立を目指します。

### 行動指針

- 1．環境に与える影響を考慮した企業活動、製品又はサービスの全領域において環境負荷を最小限にするために省資源・省エネルギー・廃棄物削減・環境リスク対策などの環境パフォーマンスを推進する。
- 2．環境マネジメントシステムに基づき環境保全活動を展開し、継続的改善の実施と汚染の予防を図る。
- 3．環境に関する法令及び同意したその他要求事項を遵守することはもとより、自主管理基準値を設定し、環境管理レベルの向上に努める。
- 4．環境目的、目標の設定及びそれを達成するためのプログラムを環境管理活動計画の中で明確にし、その計画に基づく実行と定期的な見直しを行う。
- 5．環境方針を文書化し、全従業員に周知徹底するとともに環境教育を計画的に実施し、意識向上を図り全社一丸となって環境管理活動を展開する。
- 6．環境方針の積極的な公開と開発した環境技術・管理手法を活用して社会に貢献する。
- 7．琵琶湖の近隣に立地していることを認識し、自然環境に充分配慮するとともに地域と一体となった環境向上活動を展開する。



## 環境方針カード

環境方針内容を社内に周知徹底するために環境方針カード（以下方針カードといいます。）を作成し、全従業員に配付しています。

- ・全従業員は、方針カードを携帯しています。
- ・各自は、方針カードに実践を心がける環境に配慮した行動を記載しています。
- ・トップマネジメントは、各自の方針カード記載内容を確認しています。

**NEC**

**NEC関西の環境方針**  
(環境理念 + 7つの行動指針)

**環境理念**

自然のいとなみを尊重した  
環境管理活動を展開し  
環境に配慮した事業活動と  
地球環境保全の両立を目指します


---

環境方針に基づく私の環境に配慮した行動」

所属	氏名
<div style="border: 1px solid black; height: 60px; width: 100%;"></div>	

**行動指針**

1. 環境に与える影響
2. 環境マネジメント
3. 環境に関する法令
4. 環境目的、目標の設定
5. 環境方針を文書化し
6. 環境方針の積極的な公開と
7. 琵琶湖の近隣に

 発行日 2002年6月19日(第5版)  
**関西日本電気株式会社**

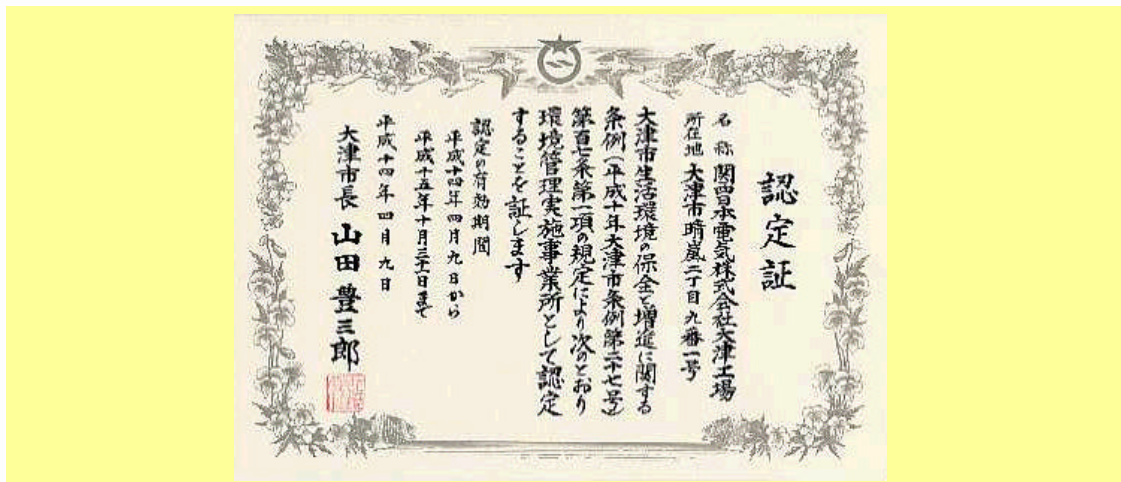
JQA-E-70003

## ●●● 環境管理に係わる認証・認定

環境マネジメントシステムに係わる国際規格であるISO14001認証を国内半導体製造事業所において最初である1996年3月8日に取得しました。



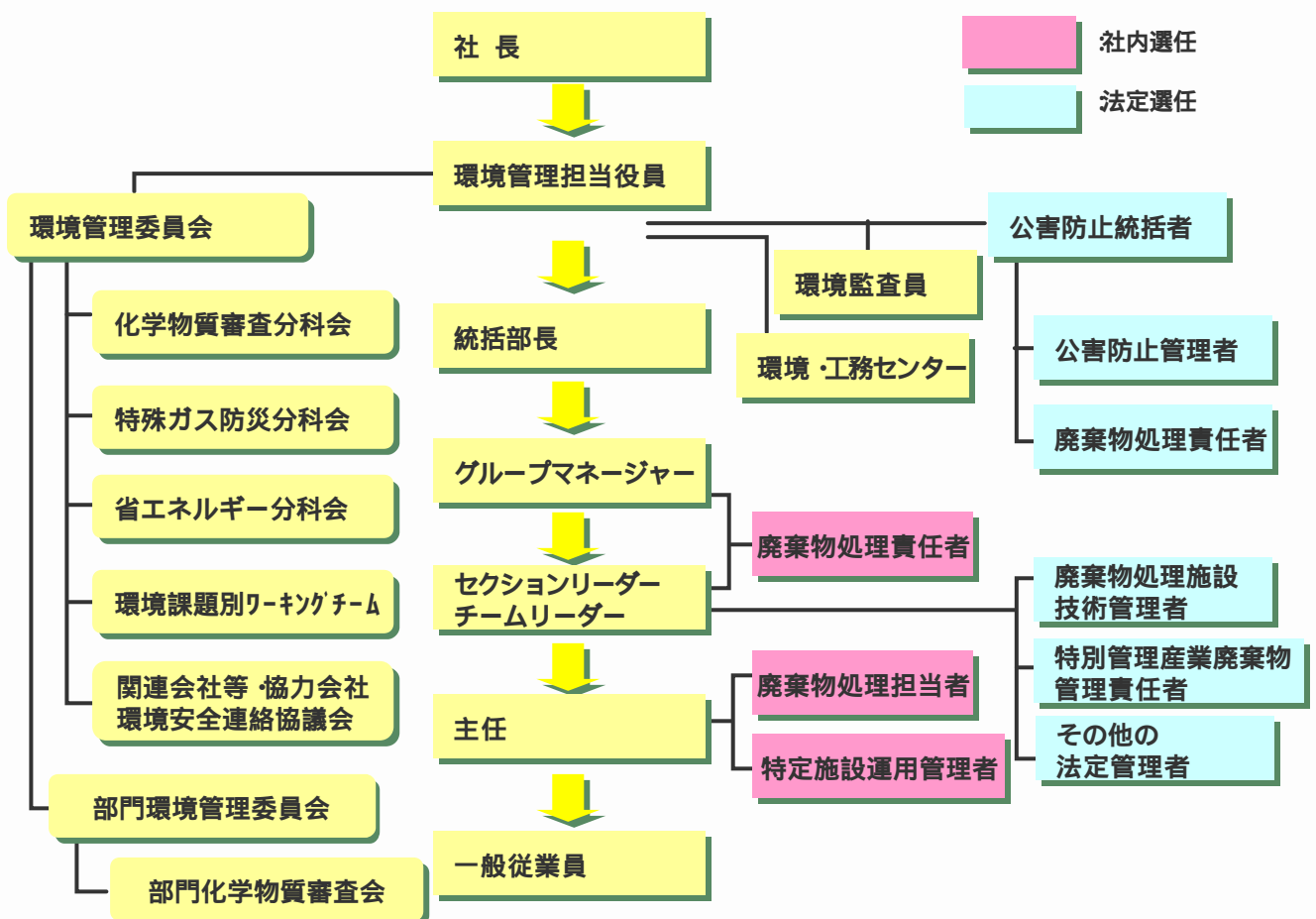
自主的な環境管理活動が認められて1999年9月に大津市から「環境管理実施事業所」として認定されました。継続認定として2002年4月に更新されました。



# 環境管理組織

環境管理活動をスムーズに展開するための環境管理組織は以下の通りです。

- ・環境方針等の全社展開機関として環境管理担当役員を委員長とする環境管理委員会を設置しています。
- ・環境関係の課題別の解決機関として分科会、各種ワーキングチームを設置しています。
- ・環境関係の法定管理者として公害防止統括者、公害防止管理者等を設置しています。
- ・環境関係の社内管理者として廃棄物処理責任者、廃棄物処理担当者等を選任しています。





# ●●● 2001年度の環境管理活動結果

## 2001年度の主な取組み実績

2001年度環境目標	実 績	評価
エネルギー・炭酸ガス排出量原単位を1990年度対比4%増加に押さえる。	34%増加	×
生産部材のグリーン購入に係わるシステム構築	生産部材のグリーン購入に係わるワーキングチームを発足し、活動を推進中	
資源有効利用として法規制化学物質の使用量を1999年度対比で1%削減	1%削減	
産業廃棄物総排出量を1999年度対比で1%削減	16%削減	
一般廃棄物総排出量を1995年度対比で30%削減	25%削減	
外部に影響する環境異常ゼロ。	環境異常ゼロ	

達成度評価      : 100%以上      : 80%以上100%未満  
 × : 80%未満

## ●●● 環境会計（2001年度実績）

環境会計は、環境対策の採算性を把握評価するために環境対策に係わる費用とその効果（収益）を金額で表示するものです。2001年度は省エネに関し十分な対応が取れなかったが、廃棄物削減による処理コスト低減や用水の再利用で効果が費用を上回ることができました。

当社では、継続的に効果的な環境改善を進めていく上で環境コストを把握することは重要と考え今後も継続的に実施していく予定です。

単位：百万円

項目	番号	科目	金額	
収益	1	リサイクル・省エネ効果益	103	
	2	原材料・廃棄物処理コスト削減益	54	
	3	用水削減益	25	
			コスト削減益合計	182
	4	修復回避益等	937	
	5	宣伝・広告相当益	13	
			みなし益合計	950
合計（収益）			1132	
費用	1	人件費・委員会費	110	
	2	環境施設償却費・課金・許認可費	144	
	3	省エネ施策費用	3	
	4	リサイクル施策費用	3	
	5	廃棄物対策費用	22	
	6	人材育成費	2	
	7	環境リスク対策費用	563	
	8	内部監査費	2	
合計（費用）			849	
損益（収益 - 費用）			283	



## 環境測定結果

国や地方自治体の定める規制値より、更に厳しい自主管理基準値を設定し、管理しています。その管理状況を定期的に監視するために環境関係測定を実施しています。

### 水質関係測定結果

2001年度測定結果の平均値

測定項目	国基準値	上乗せ基準値	自主基準値	平均測定値	測定結果
カドミウム	0.1	0.01	< 0.001	< 0.001	
シアン	1	0.1	< 0.01	< 0.01	
鉛	0.1	0.1	< 0.01	< 0.01	
六価クロム	0.5	0.05	0.02	< 0.01	
砒素	0.1	0.05	0.01	< 0.005	
水銀	0.005	0.005	0.001	< 0.0005	
pH	5.8 - 8.6	6.0 - 8.5	6.5 - 8.0	7.3 - 7.8	
BOD	160	50	19	1.9	
COD	160	50	5.5	3.9	
SS	200	70	4.1	1.4	
n-hex	5	5	1	< 0.5	
フッ素	8	8	2.2	1.6	
総窒素	120	8	5	1.5	
総リン	16	0.8	0.2	0.06	
大腸菌群数	3000	3000	240	9	
銅	3	1	0.1	< 0.05	
亜鉛	5	1	0.5	< 0.05	

単位はPHを除き mg/l 、大腸菌群数 個/cm<sup>3</sup>

注：印は測定結果が自主基準値内であることを示す

pH:水素イオン濃度 SS 水中の汚濁物質濃度 BOD:生物化学的酸素要求量 COD:化学的酸素要求量

## 大気測定結果

### 2001年度測定結果の平均値

大津工場測定施設	測定項目	単 位	国の基準値	自主基準値	平均測定値	測定結果
ボイラー	ばいじん	g/m <sup>3</sup> N	0.3	0.09	0.02	
	窒素酸化物	ppm	180	130	115	
	硫黄酸化物 (K値)	-	8.76	1	0.1	
ボイラー	ばいじん	g/m <sup>3</sup> N	0.3	0.09	0.04	
	窒素酸化物	ppm	180	130	80	
	硫黄酸化物 (K値)	-	8.76	1	0.2	
ボイラー	ばいじん	g/m <sup>3</sup> N	0.3	0.09	0.02	
	窒素酸化物	ppm	180	130	83	
	硫黄酸化物 (K値)	-	8.76	1	0.2	
ボイラー	ばいじん	g/m <sup>3</sup> N	0.3	0.09	0.01	
	窒素酸化物	ppm	180	130	103	
	硫黄酸化物 (K値)	-	8.76	1	0.2	
ボイラー	ばいじん	g/m <sup>3</sup> N	0.3	0.09	0.05	
	窒素酸化物	ppm	180	130	84	
	硫黄酸化物 (K値)	-	8.76	1	0.1	

注： 印は測定結果が自主基準値内であることを示す

## 騒音・振動測定結果

### 2001年度測定結果の平均値

測定	測定時刻	単 位	国の基準値	自主基準値	平均測定値	測定結果
騒音	6:00~8:00	dB	65	60	54	
	8:00~18:00	dB	70	65	54	
	18:00~22:00	dB	70	65	55	
	22:00~翌6:00	dB	60	55	54	
振動	8:00~20:00	dB	65	60	31	
	20:00~翌8:00	dB	60	55	30	

注： 印は測定結果が自主基準値内であることを示す

分析測定：株式会社近畿分析センター

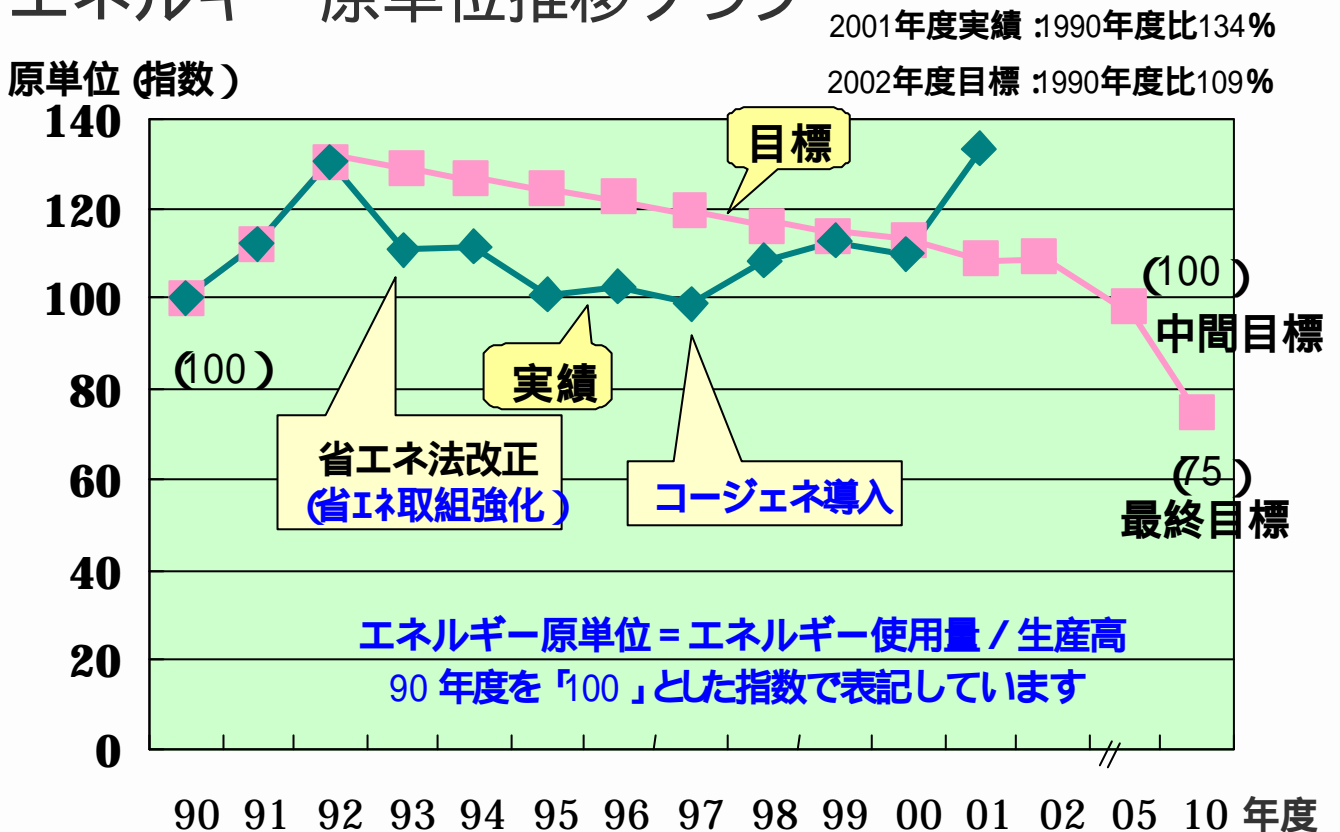
URL <http://www.kbc-em.co.jp>

# ●●● 環境パフォーマンス 1

## 省エネルギーへの取り組み (地球温暖化防止への貢献)

- ・ 省エネ目標 : 2010年に1990年比25%エネルギー原単位を低減する。
- ・ 2001年度は、冷凍機の効率改善やフリ-ク-リングの拡大等、省エネ施策を実施したが、半導体市況の低迷による減産影響でエネルギー原単位が上昇する結果となりました。
- ・ 2002年度以降の取り組みとしては、長期省エネ目標達成シナリオに基づく施策の展開(冷凍機の省エネ機転換、空調の省エネ改善等)をします。

### エネルギー原単位推移グラフ



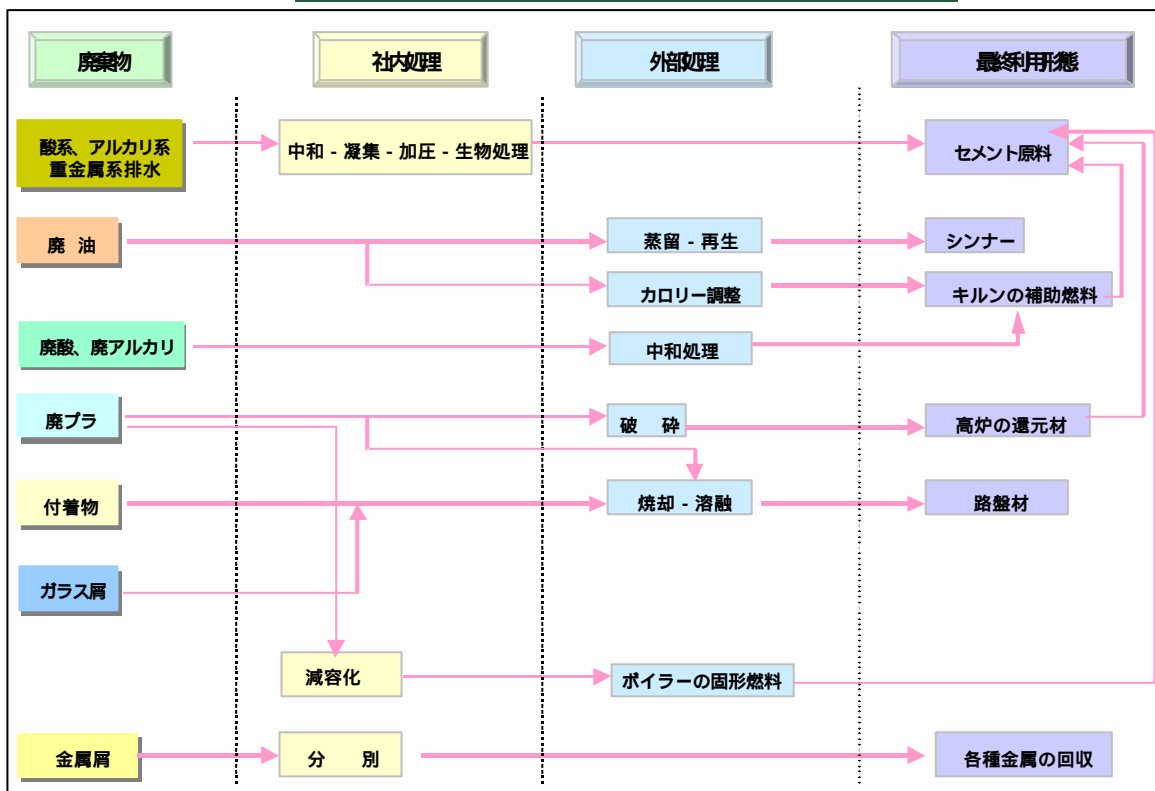
## ●●● 環境パフォーマンス 2

- ・ 環境経営活動の実践として環境負荷低減のために廃棄物総発生量削減と資源効率を高める活動を展開しています。
- ・ 源流での廃棄物発生源対策を基本に3R施策を効果的に活用しています。

### 廃棄物削減への取り組み

**産業廃棄物の0エミッション（100%再資源化）は  
2000年4月に達成**

#### 産業廃棄物再資源化



## ●●● 環境パフォーマンス 3

事務用品のグリーン購入は2000年8月に100%達成することができました。

今後、生産部材への100%適用が急務であり、精力的に取り組みます。

### グリーン購入の生産部材への適用拡大

#### 2002年度のスケジュール

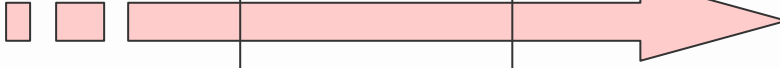
- ・ グリーン製品の定義・基準の制定 : 9月
- ・ ガイドラインの改版 : 9月
- ・ 社内での整合 : 9月
- ・ グリーン調達調査（納入業者） : 9月
- ・ 結果集計、評価 : ~10月末

#### 【中期目標】

グリーン製品購入率（金額）：100%（2004年度末）

2002年度：実態把握

2003年度：70%、2004年度：100%

年度	2002	2003	2004
グリーン製品 購入率 (金額)	 <b>実態把握</b>	<b>70%</b>	<b>~ 100%</b>

## ●●● 環境パフォーマンス 4

関連会社等や取引先と定期的に情報交換しています。

- ・ 関連会社等及び協力会社と環境安全に係わる協議会及び現地情報交換会などを定期的を開催し、相互の環境・安全レベル向上に努力しています。
- ・ 資材供給者等の取引先に対してエコアクションプラン概要版等を配付することで、当社の環境管理活動の取り組みを理解していただいています。

### 関連会社等への支援活動



関連会社等の方々に当社の環境管理・安全衛生に係わる活動内容を展開する機会として環境安全協議会を開催しました。

(開催日 2001年 6月)



関連会社等の方々と環境管理・安全衛生に係わる情報交換を目的に年1回の頻度で現地に赴き情報交換を行っています。2001年度は14社と実施しました。

(実施 2001年12月~2002年2月)



## ●●● 環境パフォーマンス 5

環境リスクマネジメントの強化のため以下の取り組みを進めています。

- ・ 2001年度は、環境異常時を想定した対応テストを全社トータルで12回計画し、計画通り実施しました。
- ・ 環境異常時を想定した対応テストでは、緊急予備槽や土のうの有効性についても確認すると共に反省会を実施し問題点を抽出し、解決することでレベルアップを図っています。

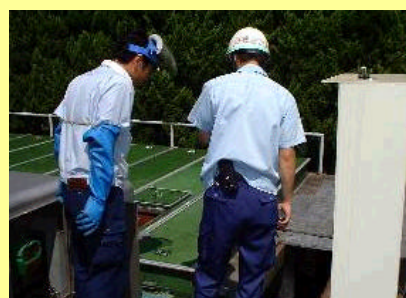
### 環境リスク対策事例

#### 環境異常時想定処置対応テスト実施



廃液置場に保管している廃溶剤が漏洩したという想定で対応テストを実施しました。土のう等の非常機材の効果についても同時に確認しました。

(実施日 2002年3月)



工場排水の最終放流口である末端槽でPH異常が発生したという想定で対応テストを実施しました。緊急遮断等の緊急装置の有効性についても同時に確認しました。

(実施日 2001年5月)

## ●●● 環境パフォーマンス 6

当社の廃棄物が適正に処理されるよう常に確認しています。

- ・ 当社の廃棄物を収集運搬業者との情報交換の機会として定期的に安全輸送協議会を開催しています。 (1回/年)
- ・ 当社から発生した廃棄物が適正に処理されているかどうかを把握するために廃棄物処理委託先の現地確認を実施しています。 (1回/年)

### 環境リスク対策事例

#### 廃棄物排出責任への的確な対応



当社の廃棄物を安全に運んでもらうために廃棄物収集運搬業者を集めて安全輸送協議会を開催しました。

(開催日 2001年7月)



廃棄物の中間処理・最終処分業者を年1回の頻度で現地確認を実施しています。2001年度は20社の確認を実施しました。

(2001年度 8月~9月 10社  
12月~1月 10社)

# ●●● 環境パフォーマンス7

環境リスクを事前に回避するために当社に乗り入れる産業廃棄物運搬車両に対し社内車検を実施しています。

- ・ 乗り入れの運搬車両には、業者による自主点検を義務付けています。更に管理強化の目的で、3年間で対象車両約30台に対する社内車検を実施します。2000年度から開始し、2001年度は10台を対象に社内車検を実施しました。4年目からは、更新車検を予定しています。
- ・ 社内車検に合格した車両を保有する産業廃棄物収集運搬業者に対し、「社内車検合格証」を交付しました。

## 環境リスク対策事例

### 産廃運搬車両の社内車検制度

発行日 1. 2000.11.6 2. 3. 4. 5. 6.	産業廃棄物収集運搬車両 社内車検制度に関する要領	KAK-119		
		環境工務部(環境管理)		
		承認	査閲	作成
		明彦	-	三好

1. 目的 産業廃棄物において、油漏れ、異臭等には事故が常態化している中当社においては、それらの車両不具合における事故を未然に防止するため独自の車検制度を導入する。

2. 対象車両

1) 産業廃棄物収集運搬車両

種類	収集運搬車両
廃酸	タンクローリー車
廃アルカリ	タンクローリー車
廃油	タンクローリー車 箱車
汚泥	汚泥搬送用ダンプ車

2) 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により委託契約を締結している収集運搬業者で当社に通常入場している車両。

3. 社内車検制度対象廃棄物及び業者

工場	種類	業者名
大津工場	汚泥	タイセキ
	廃プラ	松光運輸
彦根工場	汚泥	タイセキ
	廃プラ	協和化工
	廃油	テクノクリーン
彦根工場	汚泥	松光運輸
	廃プラ	甲陽興産
	廃油	岩谷化学工業
		協和化工

合格



## ●●● 環境パフォーマンス 8

- ・一般従業員が係わる一般廃棄物の発生場所には分別廃棄用の回収ボックスを用意し、発生元で分別を徹底しています。
- ・オフィスにおける省エネ施策として不用時の消灯及びパソコン電源OFF等の活動を徹底しています。

### オフィスにおける環境管理活動

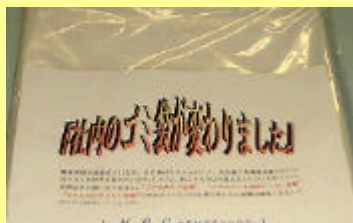
#### 全員参加のきめ細かな環境管理活動の展開



事務所などから発生する一般廃棄物は発生元で各人が分別を徹底しています。また、古紙、ダンボールなどは原料としてリサイクルしています。



省エネルギー活動の一つとして、休憩時には天井灯消灯やパソコンの省エネモード切り替えなど小さなことの積み重ねもみんなで実施しています。



ゴミ袋には行政指定の透明ポリエチレン製を使用しています。更に当社ではカルシウム入りの袋にし、有害ガスの抑制にも配慮しています。



洗面所などの蛇口にはすべて節水コマを取り付けて全従業員が節水に取り組んでいます。

## ●●● 環境パフォーマンス 9

自主的な環境管理活動レベル向上のために2001年度は、全部門を対象に内部環境監査を実施しました。

- ・環境負荷の大きな部門に対しては、インタビューとパトロールチェックを併用したきめ細かな監査を行いました。
- ・環境負荷の小さな部門に対しては、効率的に書類監査を行いました。
- ・2002年度は更なる監査の効率化を図るために電子オーデイトの導入も予定しています。

### 環境監査



インタビューチェックで環境管理活動状況の書類確認を行い、書類に記載されている内容の事実関係を担当者に直接ヒアリングすることで、検証していきます。

様式4 報告先 環境・工務センター 瀬崎センター長 殿	2001年度 NEC関西環境監査結果報告書 (環境・工務センター)	環G監-2001-02 '01年 7月 31日 主任監査員: 山中 久和 (テクノセンター) (CEAR 環境マネジメント監査員補 A 5980)
監査日及び 監査者	'01年 7月 24日(火) 9:00~12:00	
主任監査員: テクノセンター(テクノグループ)主任	山中 久和	
監査員: テクノセンター(テクノグループ)エキスパート	下條 良久	
総合評価 3.3点 (825点)	(1000点換算)	パトロール評価(200点満点) 点
環境マネジメントシステムの適合性		(適合)・不適合
1	環境マネジメントシステムに重大な不適合が	1件です。
2	環境マネジメントシステムにマイナーな不適合が	4件です。
3	環境マネジメントシステムにオブザーベーションが	4件です。
総 評		

監査終了後被監査責任者に「環境監査結果報告書」を配付します。報告書に記載されている指摘事項に対しては、社内是正システムに基づき確実に改善しています。



## ●●●環境パフォーマンス 10

- ・ 各自の環境管理レベル向上のために環境管理教育や環境意識向上活動を前向きに展開しています。
- ・ 全員参加の環境管理活動を活性化させていくために環境向上強化月間（6月、11月）を設定しています。

### 教育・意識啓発活動

#### 環境管理教育



環境管理に係わる階層別教育を定期的の実施することで従業員の環境管理レベルが向上しています。2001年度は、ビデオ等を活用し全従業員に環境管理教育を実施しました。（開催日 2001年11月）

#### 環境ポスター 標語



環境管理に係わるポスター・標語を年1回募集し、優秀作品を社内に掲示することで、環境意識向上につなげています。2001年度は応募作品ポスター21件、標語3069件から、ポスター4点、標語8点の優秀作品を選出し掲示しました。

#### エコ講演会



2001年度は、滋賀県で世界湖沼会議が開催された関係で琵琶湖をテーマにしたエコ講演会を開催しました。講師に滋賀県環境政策課の方を招き地域住民の方々にも参加いただきました。

（開催日 2001年11月）





# 地域社会とのかかわり 1

良き企業市民の仲間入りをすべく地域に密着した活動を展開しています。

- ・ 地域環境向上の一環として、環境ボランティア活動等を積極的に実施し、地域社会とのつながりを密にしています。
- ・ 行政、市民、当社従業員が一体となり、特徴的な活動を展開するように努力しています。

## 2001年度環境ボランティア実施状況

大津市民ヨシ刈り



毎年、大津市主催でこのヨシ刈りが実施されており、当社からも約20名が参加し、良き企業市民としてさわやかな汗を流しました。

(実施日 2002年2月)

盛越川フェスティバル



「盛越川フェスティバル」が「ふるさとの盛越川を愛する会」の主催で開催されました。当社もこの会の副会長を担当しており、積極的に協力しました。近隣の幼稚園児によって約500匹の鯉の稚魚が放流されました。

(開催日 2001年7月)

「Make a difference day」



NECグループでは社会貢献活動の一環として「Make a difference day」を設定しており、当社では、琵琶湖博物館のある烏丸半島周辺の清掃を実施しました。当社従業員、その家族及び関連会社等の約300名が参加し、4トンものゴミを回収しました。新聞にも紹介されました。

(実施日 2001年11月)



## 地域社会とのかかわり 2

- ・地域の皆様との定期的な情報交換の機会として、懇談会を年1回実施しています。
- ・地域の方との共同作業としてプランターの花の植替えや松並木の整備を進めています。

### 地域との環境コミュニケーション実施状況

地元自治会との情報交換



地域の方との環境コミュニケーションの一環として晴嵐自治会(1丁目・2丁目3区)の役員の皆様と環境管理を含めた全般に関して情報交換を行いました。

(開催日 2001年4月)

プランターの花の植替え



近隣自治会の方と共同で盛越川沿いのプランターの花の植替え作業を実施しました。地元自治会の方約20名及び当社従業員約20名が気持ちのいい汗を流しました。

(開催日 2001年12月)

栗津晴嵐の松並木



復活の第一歩を踏み出した「栗津晴嵐の松並木」の整備を進めています。現在、旧東海道沿い約300mに25本の松の苗木を植栽しております。

(実施 2000年12月~)

## ●●● 地域社会とのかかわり 3

- ・ 滋賀グリーン購入ネットワークでは行政や各種団体の方々と一緒になって滋賀独自の地域活動に参加しています。
- ・ なぎさエコらいふ21イベントでは買物ゲームの企画運営を担当し、連日1000人ほどの参加者にグリーン購入を呼びかけました。
- ・ おおつ環境フォーラムでは運営委員、大津環境マネジメントシステムプロジェクトのサブリーダーを担当しています。

### 地域の環境団体の中で積極的に活動



滋賀グリーン購入ネットワークのパネルディスカッションに評価手法研究会リーダーとしてパネラーを担当しました。

(開催日 2001年11月)



琵琶湖岸で湖国21世紀事業の一環として、なぎさエコらいふ21が開催され、グリーン購入ネットワークのメンバーと買物ゲームなどで参加者にグリーン購入についてPRしました。

(開催日 2001年7月～8月)



大津環境フォーラムのパートナーシップ交流会で大津環境マネジメントシステムプロジェクトとしてマネジメントシステムについて検討し、2002年度から正式にスタートしました。

(開催日 2001年9月)



## 地域社会とのかかわり 4

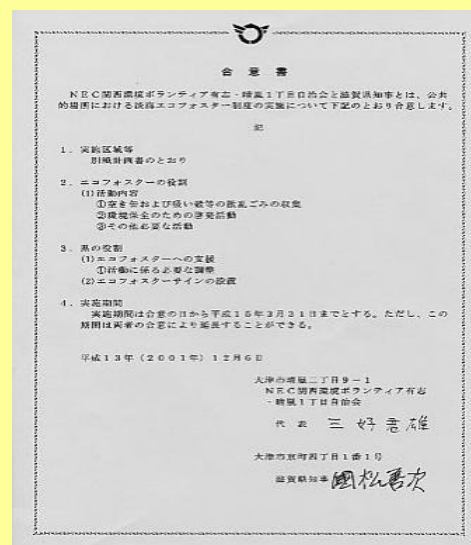
滋賀県知事とNEC関西環境ボランティア有志・晴嵐1丁目自治会とは、公共的場所における淡海エコフオスター制度の実施について合意書を締結しています。

- ・ 毎週水曜日に清掃活動実施
- ・ 湖岸道路、JR石山駅周辺、盛越川、当社工場周辺の美化
- ・ 誰でも、いつでも自由参加

### 淡海エコフオスター制度に登録



毎週水曜日には自主的に有志が集まって湖岸道路、JR石山駅周辺、当社の工場周辺のごみ拾いを実施しています。



県庁で滋賀県知事(琵琶湖環境部の代理者)とNEC関西環境ボランティア有志1丁目自治会代表が合意書にサインを交わしました。

(実施日 2001年12月)





## 地域社会とのかかわり 5

環境情報発信を通して社会の環境保全活動に協力しています。

- ・ 国際的な環境コミュニケーションの一環として、タイ国などの環境保全研修に協力しています。
- ・ 地域に対する環境情報発信活動の一環として、行政や環境団体主催の研修会に的確に対応しています。

### 外部への環境情報の発信



財団法人海外技術者研修協会からの依頼で、タイ環境保全研修生の工場見学を受け入れ致しました。参加者30名は、タイ国における学識者、専門家等環境管理関係のプロフェッショナルばかりであり、当社の環境管理活動内容の説明を熱心に聴講されていました。

(実施日 2001年12月)



大津市環境保全課の主催で環境保全研修会が開催されました。大津市と環境保全協定を結んだ44社を対象にして、当社の環境管理活動が研修内容として選考され約1時間のプレゼンテーションを行いました。この研修内容は、大津市の環境保全のホームページにも掲載されました。

(実施日 2002年2月)



滋賀県環境保全協会主催でP R T R（化学物質の排出・移動登録）法対応研修会が開催されました。当社のP R T R法対応状況が研修内容として選考され約30分のプレゼンテーションを行いました。参加者は県内外から約70名であり、活発な情報交換を行いました。

(開催日 2002年3月)

## ●●● 2002年度の主な環境目的・目標

環境目的	2002年度目標
<p><b>地球温暖化防止</b></p> <p>エネルギー炭酸ガス排出量原単位を2010年度に1990年度対比で25%削減する。</p>	<p>エネルギー炭酸ガス排出量原単位を1990年度比で9%増加に抑える。</p>
<p><b>グリーン購入推進活動</b></p> <p>生産部材に対するグリーン購入率を2004年度末に100%にする。</p>	<p>生産部材のグリーン購入を推進するために実態調査をする。</p>
<p><b>資源有効利用</b></p> <p>法規制化学物質の使用量を削減する。</p>	<p>法規制化学物質の使用量を2001年度レベルを維持する。</p>
<p><b>資源循環</b></p> <p>産業廃棄物総排出量を削減する。</p> <p>一般廃棄物総排出量を削減する。</p>	<p>産業廃棄物総排出量を1999年度対比で16%削減レベルを維持する。</p>
	<p>一般廃棄物総排出量を1995年度対比で25%削減レベルを維持する。</p>
<p><b>リスクミニマム</b></p>	<p>計画的に環境リスク対策を進めることで、「外部に影響する環境異常の発生件数ゼロ」を継続する。</p>

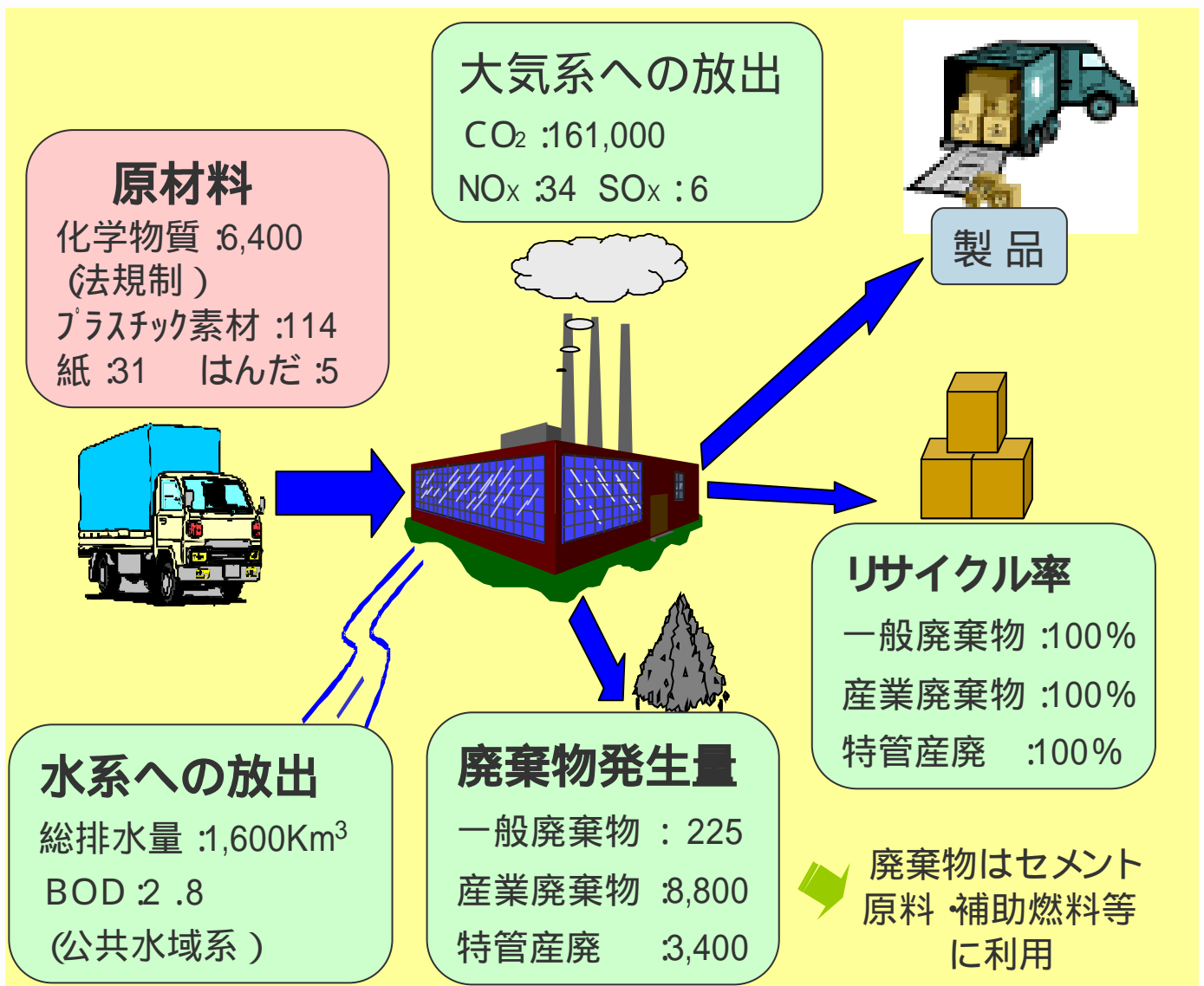


## 化学物質管理

- ・環境に係わるインプット及びアウトプットデータを確実に管理し、環境負荷低減のために活用しています。
- ・環境負荷が自然の浄化作用内でおさまるように継続的改善を進めていきます。

### 環境負荷マスのバランス

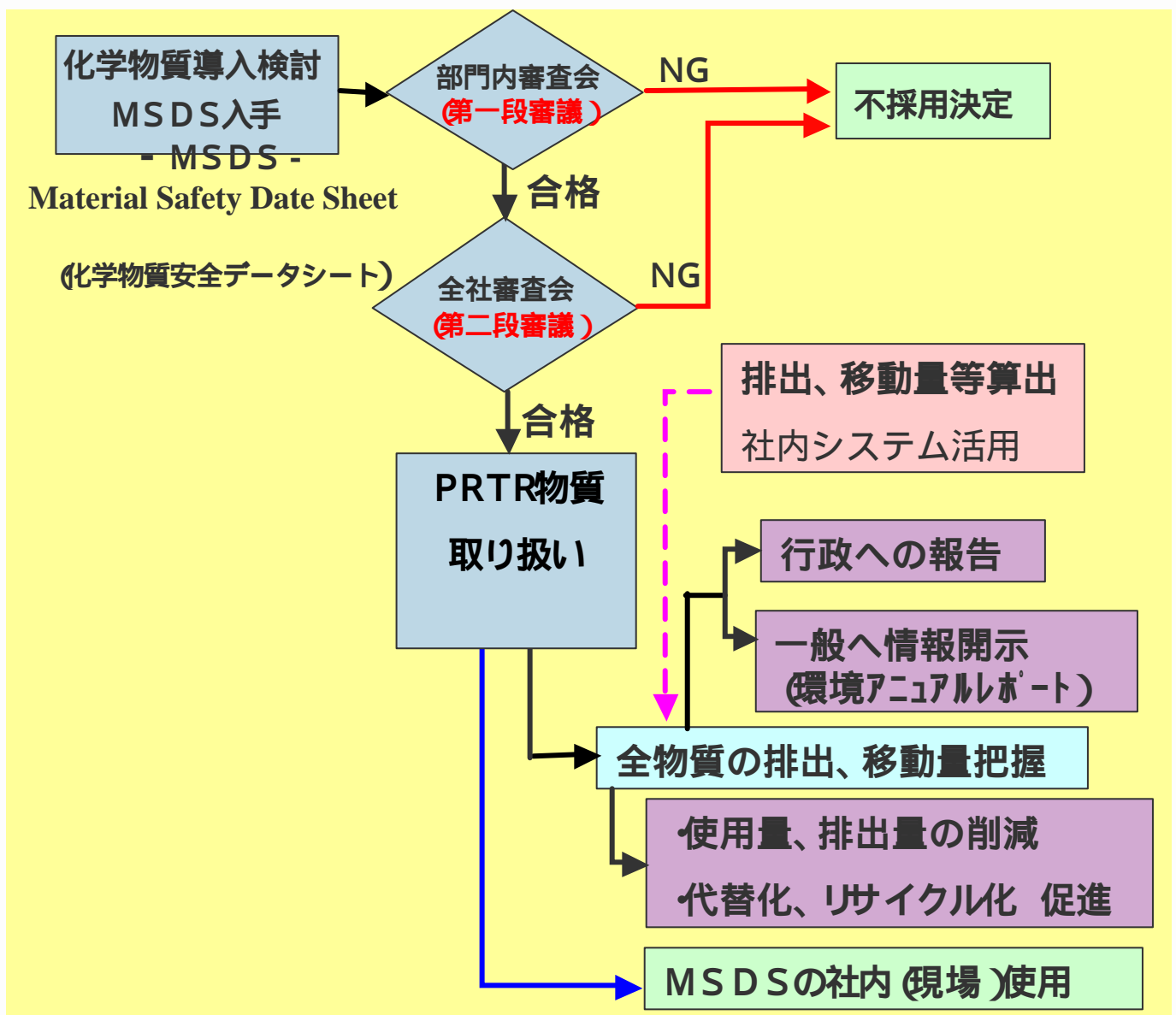
(単位：トン/年)



## ●●● 化学物質管理（PRTR法対応）

- ・ 2001年4月に化学物質の排出・移動量を把握するための法律であるPRTR法が施行されました。
- ・ 当社では、化学物質導入段階から有害性等を2段階で厳重に審議し、有害な物質を使用しないように努めています。
- ・ PRTR法物質は、削減・代替化及びリサイクルを進めています。

### 化学物質導入フロー



# ●●● 化学物質管理 (P R T R 法対応)

## 2001年度のPRTR対象物質排出量、移動量

単位 : t

化学物質名	政令 番号	取り扱い量	消費量 (製品含有)	除去処理量	排出・移動量			リサイクル量
					大気排出量	公共水域 排出量	廃棄物処理 量(注)	
2-アミノエタノール	16	4.55	0.00	0.26	0.02	0.00	4.27	0.00
アンチモン及びその化合物	25	1.54	0.48	0.00	0.00	0.00	1.06	0.00
エチレングリコール	43	0.13	0.00	0.00	0.00	0.00	0.13	0.00
キシレン	63	30.92	0.00	0.00	0.47	0.00	30.45	0.00
銀及びその水溶性化合物	64	0.12	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.06
クロロベンゼン	93	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.09	0.00
無機シアン化合物	108	0.85	0.00	0.00	0.00	0.00	0.85	0.00
o-ジクロルベンゼン	139	165.43	0.00	0.00	2.48	0.00	162.95	0.00
鉛及びその化合物	230	1.84	0.96	0.00	0.00	0.00	0.18	0.70
ニッケル	231	0.15	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.12
砒素及びその無機化合物	252	0.61	0.35	0.00	0.00	0.00	0.26	0.00
フェノール	266	75.20	0.00	0.00	1.13	0.00	74.07	0.00
ふっ化水素及びその水溶塩	283	97.36	0.00	14.89	0.10	1.64	80.73	0.00
ほう素及びその化合物	304	0.14	0.01	0.00	0.01	0.00	0.12	0.00
ポリ(オキシエチレン) = アルキル エーテル	307	0.13	0.00	0.00	0.00	0.02	0.11	0.00
合 計		379.06	1.89	15.15	4.21	1.66	355.27	0.88
比 率 (%)		100.00	0.50	4.00	1.11	0.44	93.72	0.23

注 : 廃棄物処理量には、委託再資源化量を含む

### 管理の事例

	使用量の多い物質 (o-ジクロルベンゼン) 等	リスクの高い物質 (砒素及びその無機化合物) 等
用 途	半導体製造のレジスト剥離工程	半導体の単結晶形成工程
有 害 性	・変異原性 ・生態毒性	・経口慢性毒性 ・発がん性 ・生態毒性等
管理方法	該当法令及び社内薬品取り扱い標準類の遵守	
削減努力	工程上の歩留まり改善等による投入(使用)量の削減及び代替化	

# ●●● 滋賀県条例に基づく大気環境負荷低減計画書

滋賀県では、化学物質等による大気汚染など地球規模の環境課題への取り組みを総合的に推進するために「滋賀県大気環境への負荷の低減に関する条例」が平成12年3月に制定され、当社では条例に基づく大気環境負荷低減計画を作成し、届出しています。

標準様式第4号(条例第26条第1項、第2項関係) 大気環境負荷低減計画書(変更計画書)					
			平成14年 4月22日		
滋賀県知事 殿		提出者 住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地) 大津市晴嵐二丁目9番1号			
者の氏名)		氏名(法人にあつては、名所および代表 関西日本電気㈱ 大津工場			
大気環境負荷低減計画の低減目標及び達成期限一覧表 (大津工場)					
大気環境 例 第26条第1 事業場	種 類	物 質 名	年間排出量または年間使用量	低 減 目 標	達成期限
事業場 計 画 の 基 計 画 の 計 画 低減目標と 温室効果ガ	温室効果ガス	二酸化炭素	CO2 排出量原単位 40.0t-c/億円('01年度) <総炭素排出量換算量合計> 43,920.6ton-C	CO2 排出量原単位 '01年度対比5%削減 38.0t-c/億円	2005年3月
		CF4, C2F6, C3F8, C4F8, CHF3, SF6 NF3	排出量 gwp 換算 (注1) 7.8 Kt/月:'01年度	'01年度対比3%削減 7.6Kt/月	2005年3月
ば い 煙		ばいじん	ばいじん排出量原単位 3.75Kg/億円:'00年度 <年間排出量:4,756kg/年>	'00年度レベルの維持	2005年3月
		いおう酸化物	SOx 排出量原単位 6.23 Kg/億円:'95年度 <年間排出量:7,248kg/年>	'95年度対比30%削減 4.36 Kg/億円	
		窒素酸化物	NOx 排出量原単位 23.9 Kg/億円:'00年度 <年間排出量:30,331 kg/年>	'00年度対比3%削減 23.2 Kg/億円	
有害大気汚染物質		アンモニア水	使用量原単位 24.6 kg/億円:'99年度 <年間総使用量:25.57 t>	'99年度対比5%削減 23.4 kg/億円	2005年3月
		砒素	使用量原単位 0.14 kg/億円:'99年度 <年間総使用量:0.147 t>	'99年度対比5%削減 0.13 kg/億円	
		フェノール	使用量原単位 59.7 kg/億円:'99年度 <年間総使用量:62.0 t>	'99年度対比5%削減 56.7 kg/億円	
		シアン化合物	使用量原単位 0.02 kg/億円:'99年度 <年間総使用量:0.0235 t>	'99年度対比5%削減 0.019 kg/億円	

## ●●● 土壌・地下水問題への対応状況

○ 当社全工場でトリクロロエチレン・テトラクロロエチレン・1,1,1-トリクロロエタンの使用は、1991年12月に全廃しています。

○ 1998年10月に当社の敷地内における塩素系有機溶剤による汚染状況を確認後1999年6月より本格的に浄化対策を進めています。

当社敷地内で塩素系有機溶剤による汚染を確認しました。その汚染箇所に対して地下水浄化処理装置を設置し、現在も浄化を続けています。

当社の敷地境界線を越えて、塩素系有機溶剤による汚染が全くないことを確認しています。

○ 現在、本社・大津工場では3台の地下水浄化装置を稼働させて、浄化を行っています。

○ 定期的な地下水の分析測定により塩素系有機溶剤による汚染状況を監視しており、昨年度と比較して分析測定の結果、改善が進んでいることを確認しています。

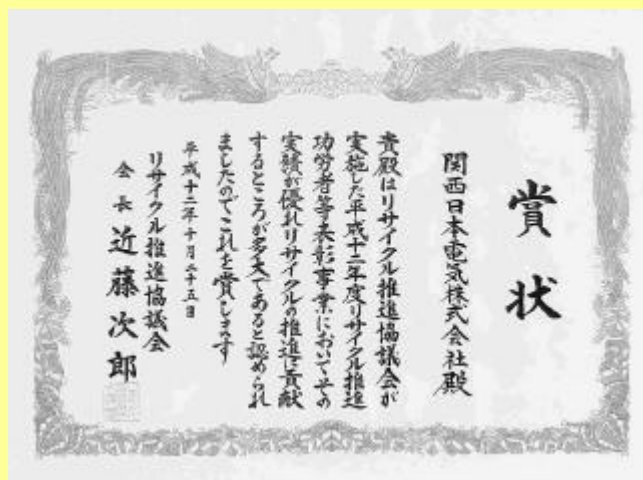
○ 敷地内において環境基準値をオーバーしている箇所を中心に今後も浄化を進めていきます。

○ 2001年度の改善状況等の現状を担当行政に報告することで、情報開示しました。また、行政を通じて要求のあった一般からの情報公開に対しても的確に対応しました。

○ 今後も土壌・地下水汚染に対して前向きに取り組むと共にその取り組み内容を環境報告書等を通して報告していきます。

## ●●● 環境管理に係わる外部表彰

- ・ 1984年 環境保全優良事業場賞受賞
- ・ 1990年 煌き大津賞受賞
- ・ 2000年 リサイクル協議会会長賞受賞
- ・ 2001年 高圧ガス保安経済産業大臣表彰
- ・ 2001年 地域環境保全功労者表彰
- ・ 2001年 高圧ガス保安功労者







## その他

**作成部門：関西日本電気株式会社（NEC関西）  
環境・工務センター（環境管理チーム）**

**連絡先**     : 〒 5 2 0 - 8 5 5 5

滋賀県大津市晴嵐 2 丁目 9 - 1

**環境・工務センター（環境管理チーム）**

TEL     0 7 7 - 5 3 7 - 7 5 2 8

FAX     0 7 7 - 5 3 7 - 8 1 9 8

**対象期間：2001年4月～2002年3月**

**次回発行予定：2003年6月**

**環境管理活動HPアドレス：**

**<http://www.neckansai.co.jp/>**